



▲グレゴリオ聖歌から『翼をください』まで、アカペラ、ピアノ伴奏つき、混声合唱、男声合唱、女声合唱…と、多種多様な演奏を聴くことができました。また、珍しい音源や楽譜の紹介をしてくださり、あっという間に時間が経ってしまいました。

▲各時代の合唱曲を、その時代の音楽の特徴の解説付きで演奏していただきました。曲数は、なんと25曲。

●懇親会



▲今年も、講師の方と参加された先生方で懇親会をしました。来年も、多くの先生方の参加をお待ちしております。

【アンケートより】

- ・情報活用能力について、音楽の学習の中でどのように取り入れていけばよいかと思っていましたが、ICTを活用するというだけでなく、プログラミング的思考という視点で考えていけば、多様なやり方があるのだなと感じました。
- ・ゲストティーチャーとの授業は様々な困難もあると思いますが、取り組みの様子や意義を知れてよかったです。
- ・こんなにも合唱にどっぷりと浸かって、なおかつ時代を網羅した内容で大変幸せでした。今後の教材研究へのヒントをたくさんいただくことができました。

2日目(12月27日)

研修内容：●講演「音楽科における指導と評価の一体化」

●お話とワークショップ「鑑賞指導における音楽と体の動き」

●ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導」

講師：藤沢 章彦（東京女子体育大学講師、当財団理事）

志民 一成（国立教育政策研究所教育課程調査官、文化庁参事官付教科調査官、文部科学省教科調査官）

高倉 弘光（筑波大学附属小学校教諭）

研究委員：館 雅之（神奈川県横浜市立つづきの丘小学校校長）／石井ゆきこ（東京都港区立芝小学校主任教諭）

井上 奈々（東京都荒川区立尾久第六小学校主任教諭）／梅宮 真里（福島県福島市立吉井田小学校教諭）

河崎 秋彦（茨城県取手市立取手東小学校教諭）／熊倉佐和子（東京都練馬区立関町北小学校主幹教諭）

長者久保希史子（青森県八戸市立北稜中学校教頭）／安部 文江（長野県小諸市立小諸東中学校教諭）

勝山 幸子（東京都港区立御成門中学校主任教諭）／高道有美子（東京都八王子市立打越中学校主任教諭）

水谷 愛（埼玉県川越市立鯨井中学校教諭）

●講演「音楽科における指導と評価の一体化」



新学習指導要領について、改めて要点を押さえ、どのように評価につなげていくか、評価規準はどのように設定したらよいか、などお話しくださいました。▶

●お話とワークショップ「鑑賞指導における音楽と体の動き」



◀「音楽と体の動き」の意義のお話しとともに、『おちゃらか』『ハンガリー舞曲第5番』『春の海』の音楽に合わせて、体を動かす活動をしました。高倉先生のお話しに引き込まれ、笑いの絶えないワークショップになりました。



●ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導」（歌曲を教材に）



▲小学校分科会 教材『ちいさい秋みつけた』
グループにわかれ、音楽を形づくっている要素を窓口にした楽曲分析をしているところです。



▲中学校分科会 教材『魔王』
教材研究から、個人やグループで指導展開例を考えているところです。困ったときは、研究委員にアドバイスをもらいます。

【アンケートより】

- ・新学習指導要領の本格実施に伴い、今後の授業のあり方について、よい学びができたと思います。
- ・高倉先生の講座が本当に楽しく、子どもたちと一緒に授業でやるのがとても楽しみになりました。鑑賞指導で体の動きを取り入れることは本当に有効だなと思いました。
- ・分科会ワークショップでは、他の先生の意見を聴きながら自分の授業を振り返ることができました。自分の授業に生かしたいです。